

令和 7 年度 全国安全週間

本 週 間／ 7 月 1 日 ～ 7 月 7 日

準備期間／ 6 月 1 日 ～ 6 月 30 日

<スローガン>

多様な仲間と 築く安全 未来の職場

全国安全週間は、昭和 3 年に初めて実施されて以来、「人命尊重」という基本理念の下、「産業界での自主的な労働災害防止活動を推進し、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ること」を目的に、一度も中断することなく続けられ、今年で 98 回目を迎えます。

この間、事業場では、労使が協調して労働災害防止対策が展開されてきました。この努力により労働災害は長期的には減少しているところですが、令和 6 年の宮崎県内における労働災害発生状況をみると、死亡者数は前年比 1 人増の 14 人、休業 4 日以上死傷者数は、前年比 35 人増の 1543 人となっています。死亡者数、死傷者数ともに前年比でプラスとなっており、特に死傷者数は令和 2 年以降 5 年連続で 1500 人を超えるなど、増加傾向にあります。

また、転倒や腰痛といった労働者の作業行動に起因する死傷災害が増加し続けており、死亡災害については墜落・転落などによる災害が依然として後を絶たない状況にあります。労働災害を少しでも減らし、労働者一人一人が安全に働くことができる職場環境を築くためには、令和 5 年 3 月に策定された第 14 次労働災害防止計画に基づく施策を着実に推進することが必要であり、計画年次 3 年目となる令和 7 年度においても、引き続き労使一丸となった取組が求められます。

以上を踏まえ、更なる労働災害の減少を図る観点から、令和 7 年度の全国安全週間は、

「多様な仲間と 築く安全 未来の職場」

をスローガンに、6 月 1 日から 6 月 30 日までを準備期間として、7 月 1 日から 7 月 7 日までを本週間として実施します。

この全国安全週間を契機として、それぞれの職場で、労働災害防止の重要性について認識をさらに深め、自主的な安全活動を着実に実行しましょう。